

教育懇談会（御木沢地区）懇談要旨

（日 時） 平成 26 年 8 月 2 日（土） 19：00～20：15

（場 所） 御木沢地区公民館

（出 席 者） 御木沢地区まちづくり協会会長外 18 名 教育委員会教育長外 6 名

（質疑応答等）

質問：OSL 線量計に関係するが、子どもたちが本来は常時携帯すべきガラスバッジが、今は自宅に置いたままの例が多いがどのように考えるか。

回答：学校を通じて注意を促したい。なお、当初、ガラスバッジは常時携帯することとしていたが、心理的不安を訴える子どもがいたため、現在は鞆に入れるよう指導している。

質問：教育委員が各学校に行く日を設けているが、どのように生かされているのか。

回答：昨年度より教育委員在校日を各校 1 日設定している。学校を通じて保護者へもお知らせし、子どもだけでなく保護者や教職員からの意見や要望を承っている。意見や要望の内容については教育委員会で文書化し各校の校長へ伝達するとともに予算化に役立てている。一例として、御木沢小児童から、除染対策で校庭の表土除去した際に撤去されてしまったタイヤ遊具をぜひほしいとの話があり、現物を手配して PTA 奉仕作業時に整備した。また、防犯灯整備についても要望を受けて対応したことがある。

質問：三春中のアンケート調査結果は高い評価を受けているが、少数意見としてマイナス面もある。今後の改善についてはどのように考えるか。

回答：三春中のアンケートは開校後 3 回行っており、1 回目の評価は今日の資料より高評価で、2 回目は若干低かった。本日の資料は 1 年経過時に近い今年 1 月の内容になっている。なお、子どもや保護者による学校へのアンケート調査は各校で実施し、マイナス部分を減らすよう各校で取り組んでいる。

質問：教育懇談会は PTA 等の実際の保護者がもっと出席すべきだと思うが。

回答：10 年前に教育懇談会を行って以来、このような機会はなかったが、震災後、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化したこともあり、それらの状況をお伝えする意味でも今回の開催となった。また、少子化に伴っての学校の今後のあり方についても考える必要があるが、小学校は各地域の核として位置付けられていることから、地域の皆さんでよく考えていただきたいと思っている。教育懇談会の周知については広報配布時に地区の皆さんにお知らせするとともに、保護者へは学校を通してプリントを全戸に配布して参加を呼びかけた。現実的には、学校の近況や日々の様子、教育関係のお知らせ等については保護者へまめにお伝えしていることもあり、改めて懇談会に出席して情報を入手する必要性を感じていない面もあるかと思う。

質問：栄町地区の小学生は三春小に6名、御木沢小に7名が通っている。4年前には一時落ち着いたが、現在は地区の行事を行うにも三春小に通う児童は参加しない等やり難い面がある。上の兄弟が通っているため同じ小学校に通いたい、または放課後の学童保育が必要である等の理由で、地区の学校以外を認める場合があるのは聞いているが、御木沢小にも児童クラブがあることをしっかり伝えて学区外への流出を防いでほしい。

回答：八島川を境界として学区は区分されており、決まり事であることは保護者へも伝えていますが、共働きで放課後に旧町在住の祖父母宅へ下校させる等の理由で三春小を通わせたいとの申し出は事例としてある。児童クラブ利用を促す等の働きかけも含めて対応を行っていきたい。

要望：孫が町民プールを利用しているが、シャワーの一部に不具合があり、また、洗眼用水道に小さい子が届かない。改善をお願いしたい。

回答：対応したい。

質問：三春小校舎は改修工事によって空き教室はできたのか。

回答：教室の改修内容は、耐震補強とともにこれまで廊下との仕切りが無く形状的にオープン教室となっていたものを、従前の教室に改めたものである。また、教室数についても、資料にあるように特別支援学級が多いことから、未利用の教室はない状況となっている。